

トゥルーワイヤレスステレオイヤホン/KTWE01

## 取扱説明書

(保管用)




このたびは「KTWE01」をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。  
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。  
また本書は保証書付きですので、すぐに取り出せる場所に大切に保管してください。

イツワ商事株式会社

## ⚠ 安全にお使いいただくために ⚠

本製品は電気製品であり人体に装着する製品のため、以下、注意事項を守り安全に配慮し使用してください。またワイヤレスイヤホン等無線機器の特性上、駅などの混雑エリアやご使用される場所により雑音が聞こえたり、一時的に接続が途切れる場合があります。また自動ドアや無線LAN等の同じ周波数帯の電波が飛び交う場所やその他の電波を発する機器設備付近でも雑音や途切れが起こる場合があります。また視聴される映像フォーマットにより映像と音声はずれる場合があります。

### 記号の説明

 <b>危険</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った使い方をすると、火災・感電・漏液・発熱・破裂等により死亡や大怪我等の人身事故が生じる可能性があります。
 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った使い方をすると、傷害または、物的傷害が発生する可能性があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った使い方をすると、感電やその他の事故により怪我をしたり周辺の家財に損害を与えたりする事があります。

## ⚠ 危険 ⚠



禁止

- \*充電するときは必ず付属のUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、加熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。
- \*火の中に入れてください。
- \*絶対に分解しないでください。故障や感電の原因となります。
- \*火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しないでください。
- \*水中や水がかかる場所、多湿の場所などで保管・放置しないでください。
- \*心臓ペースメーカーを装着している場合、近くで医療機器を使用している場合は使用しないでください。また保管したり放置しないでください。電波や磁力等がペースメーカーや医療機器などの動作に影響を与えるおそれがあります。
- \*本製品はケーブルやイヤホン部品があります。首に巻きついたり、誤飲を避けるため、必ず乳幼児やペットの届かない場所に保管してください。
- \*充電電池式電池の液が漏れたときは素手で液を触らず、直ちに販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になる事があるので目をこすらず、すぐに水道水などの綺麗な水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- \*液が身体や衣服についたとき、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状がある時には医師に相談してください。

## ⚠ 警告 ⚠



禁止

- \*異常がある場合、故障の場合は使用しないでください。
- \*動作に異常があったり、故障している場合は、すぐに使用を中止してください。
- \*異音・異臭、煙が出るなどの場合すぐに電源を切り直ちにお客様相談窓口にご連絡ください。
- \*運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。
- \*自動車やバイク、自転車など運転中に本製品および携帯電話などの運転に関係の無い操作は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- \*運転中に携帯電話の画面を注視しないでください。
- \*運転中以外でも、踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では本製品を使わないでください。
- \*運転中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。
- \*運転中にサイレンや警告、電車の踏切音などが聞こえないと、取り締まりの対象となります。
- \*水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入った時は、すぐに使用を中止し、問い合わせ先にご相談ください。
- \*本体を布団などでおおった状態で使用・充電しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

## ⚠ 注意 ⚠



禁止

- \*イヤホン本体や充電ケース、接続機器、関連機器にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。
- \*耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- \*耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- \*本製品につないでいるBluetooth機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- \*突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。音量は徐々に上げてください。
- \*充電中の本製品に長時間ふれないでください。充電中の本製品や充電器に長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。
- \*本製品が肌に合わないと感じた時はただちに使用を中止して、医師またお問い合わせ先にご相談ください。
- \*断線や故障の原因となるため、本製品を無理な力で引っ張ったり、加えたり、振り回さないでください。
- \*5°Cから35°Cの環境で使用・保管してください。
- \*本製品をズボン等の後ろのポケットに入れて座らないでください。変形や故障の原因となることがあります。

## ⚠ 注意 ⚠



禁止

- \* イヤーピースはしっかり取り付けてください。イヤークリップがはずれて耳に残ると、怪我や病気の原因となることがあります。
- \* 本製品を許可無く航空機内で使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。必ず搭乗している航空機の責任者の使用許可を得てください。または航空会社のルールに従ってください。
- \* 満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。
- \* 本製品を自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- \* 本製品は、国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

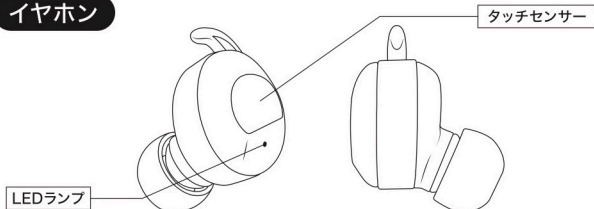
## その他のご注意



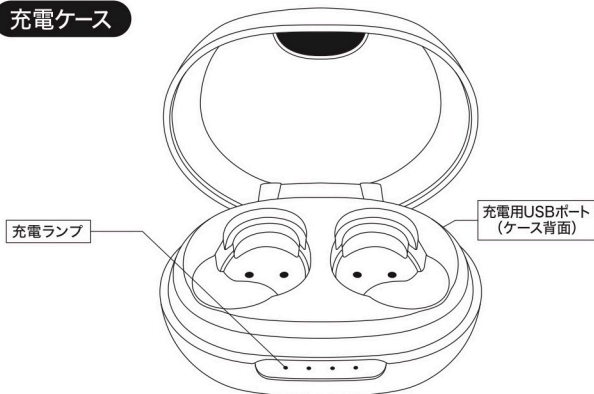
禁止

- \* 電波法の機器認定について  
本製品は、日本の電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要はありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - ・本製品を分解/改造すること
  - ・充電ケース底面の印刷を削り取る※海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
- \* 周波数について  
本製品は2.4GHz帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  - \* 本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の家電製品・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
  - \* 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - \* 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の使用を中止してください。
  - \* Bluetooth マークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
  - \* その他記載されている第三者の商品またはサービスの名称等は、各社の商標または登録商標です。

## イヤホン



## 充電ケース



### 仕 様

通 信 方 式	Bluetooth Ver5.0	充電ケース充電時間	約1.5時間
防 水 等 級	IPX5	インピーダンス	16Ω±15%
対応プロファイル	A2DP、HFP、HSP、 AVRCP、BLE、SPP	音 圧 感 度	94±3dB
対応コーデック	SBC、AAC	入 力 端 子	USB TYPE-C
音 楽 再 生 時 間	約5時間	入 力 電 源	5V/1A
音 楽 再 生 時 間 (充電ケース込み)	約15時間	イヤホンバッテリー	50mAh
		充電ケースバッテリー	350mAh
		認 証 番 号	㊞ <sup>®</sup> 204-B00359

### 付 属 品

USB TYPE-Cケーブル(長さ約30cm) / シリコンイヤピースS、M、L(1種はイヤホンに装着済)  
装着感調整シリコンリング3種(1種はイヤホンに装着済)

## ペアリングについて

初めてのご使用の際には、携帯電話端末と本製品を接続相手としてペアリング(登録)が必要です。一度ペアリングをすれば、次回からペアリングを行う必要はありません。携帯電話端末と本製品を1m以内に置き障害物がないことを確認してください。

## 片方のみ接続したい場合

- 1.充電ケースからイヤホンを片方だけ取り出すと、イヤホンの電源が自動的にON、ブルーLEDが点滅し、しばらくするとペアリングモードになりブルーとレッドLEDが交互に点滅します。
  - 2.端末のBluetooth機能をオンにしてください。
  - 3.【Color&Groove KTWE01】を検索しペアリング登録します。
- \*片方のみご使用の場合は一部のタッチコントロール操作ができません。

## 両耳用として接続の場合

- 1.充電ケースからイヤホンを両方取り出すと、イヤホンの電源が自動的にON、ブルーLEDが点滅し、しばらくするとペアリングモードになり片側のブルーとレッドLEDが交互に点滅します。
  - 2.端末のBluetooth機能をオンにしてください。
  - 3.【Color&Groove KTWE01】を選択、ペアリング登録します。
- \*接続完了の場合、「コネクテッド」という音声が流れ、LEDランプは消灯します。  
\*お使いの機器によってはパスキーを求められることがあります。その場合は、「0000」と入力してください。  
\*通話の際は両方から音声が聞こえます。  
\*マイクは片側のみとなります。  
\*本製品は自動ペアリングです。ペアリング情報を削除していない限り、充電ケースから取り出した際は自動的に最後にペアリングした端末と接続します。

## 操作方法(タッチコントロール)

音楽再生	短押し	電話を受ける	片側を短押し
一時停止	短押し(再生中)	リダイヤル	片側を4回短押し
次の曲へ	右(R)を2回短押し		(最後に発信した番号)
音量を上げる	右(R)を長押し	通話終了	片側を短押し
音量を下げる	左(L)を長押し	受信拒否	片側を約2秒長押し

- \*最後に発信した番号以外へ発信したい場合はスマートフォン側で操作してください。  
\*端末やアプリケーションによって、操作が異なる場合があります。

## 注意事項

### 充電について

- 充電中は、本製品は使用できません。
- 初めての充電の際には、完了までに時間がかかることがあります。
- 長時間使用しない場合でも定期的に充電をしてください。

### ペアリングについて

- ペアリング完了後、接続機器により自動で音楽が再生される可能性がありますので、耳に装着した状態でペアリング操作を行わないでください。
- ペアリング済の接続機器がある場合、本製品をonにした時は接続を優先します。別の接続機器とペアリングを行う場合は、ペアリング済の機器のBluetooth設定をオフにしてください。

- 機器により、設定方法が異なりますので、必ず接続機器の取扱い説明書をお読みの上、操作を行ってください。
- ペアリング情報が正しく認識されていなかったり、本製品の操作不能や、接続が不安定な場合は接続機器からペアリング情報を削除して、改めてペアリング操作を行ってください。ペアリング情報を削除する場合は、機器のリストから「Color&Groove KTWE01」を削除してください。

## 防水について

- 本製品はIPX5相当の防水仕様となっておりますが、水濡れや汗の付着など、取り扱いの仕方によっては故障の原因となりますので、次の注意をお読みになり正しくお使いください。
- 充電する際、本製品と手が濡れていないことを確認してください。
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本製品を水や石けん水で洗わないでください。
- スピーカー部分やマイク部分に水が付着すると、音がこもったり聞こえにくくなったりすることがあります。付着した水気は、柔らかい布などで拭き取り、乾燥させてからお使いください。お客様の誤った使用が原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。真水、水道水、汗以外の液体(石けん水、海水、入浴剤の入った水など)は、対象外となります。
- 使用後は、乾いた布で水分を拭き取り、湿気の無い場所で本製品を保管してください。
- 乾かすために高温のドライヤーを使用したり、ヒーターの前に置いたりしないでください。

## イヤホンへの充電

- イヤホンのバッテリー残量が少なくなると、「バッテリーロー」とガイダンスが流れ、レッドLEDが3分ごとに4回点滅します。しばらくすると自動でOFFになるので充電ケースに入れて充電してください。
- 充電中イヤホンはレッドLEDランプが点灯します。充電完了後はLEDランプが消灯します。イヤホン充電中、充電ケースのホワイトLEDランプが点滅します。
- イヤホン充電完了の場合、充電ケースに入れてもLEDランプは点灯しません。

## 充電ケースへの充電

- 付属のUSB充電ケーブルを充電ケースに接続して充電してください。USBポートもしくはお手持ちのACに接続してコンセントから充電できます。入力電源を超えるものは使用しないでください。破損の原因となります。
- 充電中はバッテリー残量によってホワイトLED充電ランプが点滅します。
- 充電完了後はホワイト充電ランプ4つ全てが点灯します。速やかにケーブルを抜いてください。

# 保証書

トゥルーワイヤレスステレオイヤホン/KTWE01

お客様	お名前	様		
	ご住所	〒		
		TEL		
販売店	担当者名			
保証期間	ご購入から 1 年間	保証対象	本体	
ご購入年月日		年	月	日

## 無償交換保証規定

1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。

万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償交換いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店様までお持ちください。

2.次のような場合は保証期間内でも有償交換になります。

- (1) 保証書をご提示いただけない場合。
- (2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (3) 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
- (4) 故障の原因がお客様による輸送または移動中の衝撃による場合。
- (5) 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
- (6) 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。

3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での交換はお受けいたしかねます。

4.本製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。

5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。

6.本製品は一般的なご家庭やオフィスでの使用を前提として設計しております。用途以外でご使用された場合は、保障期間内での交換もお受けいたしかねます。また、その使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。

7.交換ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。

8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

【発売元】 **イトツワ商事株式会社**

 **ITSUWA**

〒542-0062 大阪市中央区上本町西1-1-8

TEL: 0120-520-357 (営業時間: 平日9:00~17:00) / URL: <https://www.itsuwa.co.jp>



ペアリングが出来ない場合、下記の対応方法をお試しください。

**【対応方法①】**

イヤホン両側を充電ケースに戻して再度取り出し、ペアリングを行ってください。

\*この時、まず自動でイヤホンのLとRがペアリングされます。その後スマートフォンとBluetooth接続を行ってください。(LとRのペアリングが完了する前にスマートフォンとBluetooth接続をされると片側が接続されません。)

**【対応方法②】**

(片側のみペアリングできない場合)：

イヤホン両側を充電ケースに戻し、約3秒待ってから充電ケースから取り出します。その後自動でLとRのペアリングが行われます。

LとRのペアリングが成功したら、スマートフォンとBluetoothにて再度接続してください。

※LとRのペアリングが完了する前にスマートフォンとBluetooth接続をされると片側が接続されません。

**【対応方法③】**

(片側のみペアリングできない場合)：

接続ができない側のタッチセンサーを約3～5秒長押ししてください(電源がオンになります)。その後自動でLとRのペアリングが行われます。

LとRのペアリングが成功したら、スマートフォンとBluetoothにて再度接続してください。

※LとRのペアリングが完了する前にスマートフォンとBluetooth接続をされると片側が接続されません。

**【対応方法④】**

(充電ケースにイヤホン両側がセットされている状態から始めてください)

イヤホン両側を充電ケースから取り出してください。

イヤホン両側の赤いLEDが点灯して消えるまでL、Rを約10秒長押しして、一度電源をオフにします。

L、R両側をもう一度約5秒程度長押し、青と赤のLEDが交互に点滅しだしたら、指を離します、その後両側同時に5回短く押し、紫色のLEDが3回点滅し、LEDが消えたら、LとRを充電ケースに戻してください。

ふたたびイヤホン両側を取り出し、ペアリングを行ってください。

\*この時、まずイヤホンのLとRが自動でペアリングされます。その後スマートフォンとBluetooth接続を行ってください。(LとRのペアリングが完了する前にスマートフォンとBluetooth接続をされると片側が接続されません。)

必要な場合は動画をご確認ください。

